

- 【日時】 令和4年6月28日(火) 9時00分～11時30分
【会場】 さいたま市立七里小学校 南校舎3階ハッピールーム
【委員】 15名出席

<議事>

1 開会行事

- (1) 校長あいさつ
- (2) 委嘱状交付
- (3) 自己紹介
- (4) 会長・副会長の選出

2 学校からの説明

- (1) 学校経営の基本的な方針について
- (2) 質疑応答及び承認
 - ・全委員により承認される。

3 授業参観

- ・楽しそうな授業が展開されていた。児童は元気に学習に取り組んでいた。
- ・家庭科室など、エアコンのない教室での学習は大変そうである。学習に集中できる環境を整えていくことが大切である。

4 熟議

- (1) 令和3年度第3回学校運営協議会を受けての取組の現状と課題について

【あいさつについて】

- ・自分からあいさつ、ということができているかどうか。校長があいさつをすると児童もあいさつをするという姿がよく見られる。
- ・あいさつ運動を行っている場所に、150周年事業で新しい看板を設置した。
- ・あいさつの周りに何かがあるのではないか。あいさつの強化月間、ということが大切なのではなく、学校、家庭、地域のつながり、仲間意識、コミュニケーションを大切にしていくことが必要である。
- ・あいさつを継続していくことが大事である。継続していくことで文化となっていく。あいさつができているかどうかについて、大人が振り返っていくことが大切である。
- ・継続していくことで習慣化され、心から言葉が出てくるようになってくる。あいさつは、誰に対しても言葉として出てくるものとなる。
- ・公民館に未来くるワーク体験の中学生が来る。中学生にはあいさつを自分からするように、と言っている。積極的にあいさつをしている様子は見られるが、公民館の利用者のあいさつは「こんにちは」「おはようございます」一辺倒ではなく、今日の天気や相手の服装などに触れる言葉（「今日は暑いねえ」「素敵な服だね」など）もある。それには戸惑っている様子が見られた。あいさつの「型」だけでなく、相手に合わせて双方向のやり取りができるとよいと思っている。
- ・まずは「ありがとう」や「ごめんなさい」に心を込めて言えることが大切である。あいさつは職種によっても異なってくる。例えば、商売をしていれば「いらっしゃいませ」などがそれにあたる。
- ・あいさつは家庭で身につけていくものと思っている。朝起きてから学校に行くまでにもたくさんのおいさつがある。果たして大人がきちんとあいさつができているのだろうか。教員もどうだろうか。あいさつの返ってこない教員にも出会う。あいさつで関係ができ、互いが守られる

関係となっていく。

- ・親にこうしたことが伝わりにくいのではないか。学校だよりにこうしたことを掲載し、親が読んで反省するということも必要ではないか。親がしないと子どももしない。
- ・館岩のお迎えに保護者が来校した際、担任に対してありがとうございました、という声が聞かれないというのを目に見ている。家庭への啓発は、学校発信では難しい面がある。PTAから発信してもらってはどうか。
- ・来校したお客さん、業者さんも含めてあいさつをするよう、職員には言っている。職員自らあいさつができるようにしていきたい。

【保護者の学校への関わり方について】

- ・コロナ禍が続く、保護者が学校を知る機会が少ない。PTAとしても保護者が来校する機会を増やしていくことを考えている。
- ・親も少年団など、自分の子の興味のあることには積極的にかかわっている。しかし、学校のことになると敬遠する親が多い。自分の子に興味のない親はいない。親に関心をもたせる取組を考えていくことが必要。
- ・何か、興味をもてれば、保護者も来校したくなる。
- ・おやじの会の活動をもっとPRして、活動やメンバーを広げていくのはどうか。
- ・興味のある人が入りやすいコミュニティを作っていくことが大切。これまでの形にとらわれることなく、形を変えていくことも必要。

【学校のきまりについて】

- ・廊下の右側通行の掲示が多く見られた。よい取組であり、あいさつと同様に徹底できるとよい。

【学校運営協議会のもち方について】

- ・学校は子どもたちがメインのはずなのに、大人同士の話し合いばかりである。この会にも子どもがいない。子どもからのヒヤリングなどがあってもよいのではないか。

(2) 七里小学校の現状について

- ① 学校課題研究について（学校課題研究主任）
- ② 健康診断後の受診状況について（養護教諭）
 - ・共働き家庭などは忙しくて受診できない、という状況があるのではないか。
 - ・休日や夜間に診療を行っている病院もある。行けないということはないのではないか。
 - ・コロナ禍にあって、受診しにくいという家庭もあるかもしれないが、受診率は気になる。
 - ・休日などは、習い事を優先してしまう家庭があるのではないだろうか。
 - ・通知表に未受診であることについてチェックリストを用いて記載するなどしてはどうか。

5 いじめ対策委員会

(1) 説明 生徒指導主任

(2) 協議

- ・面談をしているとのことだが、周りに悟られたりすることのないよう、慎重に進めてほしい。
- ・返事ができたらほめるなど、基本的なことを積み重ねていくことが大切。そうすることで記憶に残っていく。
- ・アンケートの実施が4、9、1月とのことだが、それだけで大丈夫なのか。
→長期休業前にも簡易的なアンケートを行い、状況を把握している。
- ・親にいじめの状況をわかってもらうことも大事である。学校でアンケートをしているとのことだが、家庭に配付し、保護者の見ているところでアンケートを行い、提出してもらうのはどうか。提出の際は、封をして見えないようにする。
- ・社会では侮辱罪が厳しくなっている。ハラスメントを受けたと訴えた側が、侮辱罪で訴えられることもある。学校のいじめとは直接的には関わることではないが、対応は慎重に行うこ

とが大切である。

- 6 さいたま市コミュニティ・スクール推進に係る「横断幕フリーズ」について事務局案をもとに協議会で検討し、案を決定。
- 7 諸連絡
- 8 閉会